

集中して試験開始の合図を待つ受験生。共学化で初の男子受験生の姿も
(午前10時25分、京都市山科区・京都橘女子大)



春への扉開ける

京滋でも私大入試本格化

共学化の男子の姿も 京都橘女子大

私立大の一般入試が京滋でも本格化し、二十五日には、今春から共学になる京都橘女子大(京都市山科区)で行われた。初めての男子受験生を含む約千三百人が「春」への関門に挑んだ。

午前十時半から、文、で前年比三・二五倍にな 梅本裕副学長は「共学化文化政策など三学部すべ った。新設の看護学部も で入試が始まった。会 名目二十三倍の人数で、もあつたが、コツコツ学場には多数の女子受験生 に交じて男子の姿も見 られ、緊張の面持ちで試 験開始の合図を待ってい た。

橘女大の今年の志願者 総数は二千七百六十八人 (うち男子六百九十人)

ぶスクールカラーがより 理解された」と喜んでい た。

二月上旬には同志社大 や立命館大などでも一般 入試が始まり、私大入試 シーズン本番を迎える。